

地球総合工学概論 I Global Architecture I

教員名	地球総合工学科全教員							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S1棟 地球総合工学科事務室							
E-MAIL アドレス								
履修対象	地球総合工学科 (1年次)							
単位	2	セメスター				1		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	地球総合工学とは何かを理解し、第2セメスター開講の地球総合工学概論Ⅱと合わせて、船舶海洋工学・社会基盤工学・建築工学、それぞれの専門分野がこの分野で果たしている役割を理解する。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	◎		○					○
授業計画・概要	テーマ	概要						学習・教育目
	序論 (1回)	地球総合工学の役割とその内容について講義する。(包括1回)						A
	都市と人間 (3回)	我々が生活している都市空間の特性、都市を連結する交通網の特性、さらにそれらと人間の社会・生産活動との係わりについて講義する。(包括3回)						A C H
	災害と人間 (3回)	地震や風水害などの自然災害、それと地球温暖化など地球環境問題との関わり、国土と海上での防災対策について講義する。併せて災害や事故を例にして技術者の責任や持つべき倫理について講義する。(包括3回)						A C H
	環境と人間 (4回)	地球、国土、海洋、地域、都市、住宅といった様々な空間における環境について、その特性と問題点を総括的に解説する。(包括4回)						A C H
	都市空間と景観、デザイン (3回)	都市空間での環境保全や環境修復、健全で豊かな空間創造のための基本的な考え方やデザイン、技術について講義する。(包括3回)						A C H
	学期末試験 (1回)							
教科書	特定の教科書は使用しない。 各講義において必要な資料は配布する。							
参考図書・文献等								
成績評価方法・評価基準	CとHについては学期末試験(70%)で評価する。Aについては毎回講義の小レポート(30%)で評価する。							
オフィスアワー	随時 e-mail で対応							
コメント	本講義は、地球総合工学科に入学した学生に対する最初の専門科目として、学科の教員が作成した教科書にもとづいて、人類が地球と調和して生活するための空間・活動するための空間をいかに創造していくかを理解し、問題意識を身につけるものである。							